



東 俣 野 10月号

東俣野小学校 学校だより 平成27年10月1日

地域・保護者に見守られ

副校長 油屋 邦江

朝夕たいへん涼しくなり、虫の音の響きに秋の深まりを感じるようになってきました。

9月は、全国的に大雨が続き、「関東・東北豪雨」では河川の氾濫や土砂災害など大きな被害にあわれた地域もあり、改めて自然の恐ろしさには驚くばかりです。横浜も毎日のように雨が続き、子どもたちも外での活動や遊びも思うようにならない日が続きました。ここ最近になって、秋晴れに恵まれた日には、校庭で歓声をあげながら遊ぶ元気な子どもたちの姿が多く見られるようになり、少しほっとしています。

さて、台風18号による影響で横浜でも大雨・洪水警報が発令し激しい雨に見舞われた日、本校は水曜時程で早めに5時間目が終了するということもあり、気象情報や市の防災情報も得ながら全校一斉下校という判断をしました。また、職員が担当の各方面に分かれ子どもたちと一緒に歩き、安全な下校を見守るということにしました。保護者の方へのメール配信に、「ご都合のつく方は一緒に下校を見守っていただくと助かります。」とのお願いをしましたところ、多くの保護者の方に通学路に出ていただき、たいへん有り難く感じました。ところがちょうど下校する時間に激しい雨に降られ、保護者の方にご心配をおかけしました。降った多量の雨がはけず排水溝からあふれた箇所では、子どもたちの誘導をしてくださった保護者の方もいらっしゃいました。非常時における判断はたいへん難しいのですが、場合によっては子どもたちを学校に留め置いて保護者の方の引き取りをお願いすべき時もあります。今回の判断についてもご理解とこれからのご協力をよろしくお願ひします。また、そんな大雨の中でもずぶ濡れになりながらも安全サポートの会の皆さんが子どもたちの安全を見守っていただいていたとのこと、心から感謝申し上げます。子どもたちは地域に見守られているという安心、温かい地域だと改めて感じます。

さて、9日で前期が終了します。子どもたちは、元気に充実した毎日を過ごせたのではないかと思います。最終日には、担任より前期のあゆみを渡しますが、ご家庭でもあゆみをもとにお子さんと一緒に学習や生活を振り返り、一人ひとりお子さんのよさを認め、自尊感情を高めたり、つぎの意欲を喚起したりする機会としてほしいと願っています。